

初のお父さん学級開催

一乳幼児と遊び横の交流も一



「お父さんと遊ぼう！」 乳幼児学級

公民館長 小西 盛登

公民館では、0歳から3歳までの就園前の子どもの親を対象にした、乳幼児学級を子どもと同年齢の年齢ごとに開催し、子育て知識を高め、同年齢の子

を持つ親のつながりを深める機会としています。学級にはお母さんが参加することが多いことから、2歳児と3歳児の学級に参加している家庭のお父さん向け講座を、10月31日の日曜日に開催しました。当日は4人のお父さんが子どもと一緒に参加し、自己紹介ゲームやボールなどを使った親子体操を行い、親子仲良くひと時を過ごしました。お父さんからは「とても楽しかった。運動で汗をかけた」「お友達と集まり遊ぶのが、親子で刺激になった」「また来たい」など好評でした。

えんじくどい

公民館活動を進めるため感染防止対策を考えてやれることをやろうと進めましたが、感染増加で活動を中止する判断をせざるを得ませんでした。

それでも鼎文化祭がおこなわれ公民館の活動や地域の活動発表の場が設けられたことは良かったと思います。

鼎地区公民館活動は地域の活動とともに思いやりや温かい人々のつながりを作る活動であり続けていかななくてはならないと思います。

これからの未来のため明るく前向きにみんなで知恵や意見を出し合いよりよい鼎地区になるようにしていきたいものです。

発展する鼎地区も交通量が増えていきます。道路幅が狭い所が多いため事故発生が心配されます。夕暮れ時間が早くなり暗くなるのも早くなり危険になります。車も歩行者も安全のために車は早めのライト点灯を、歩行者は反射材着用等で安全確保してお互いに交通ルールを守り事故を防止していきたいものです。一人ひとりの心掛けや思いやりで交通事故防止につなげていきましょう。

名古屋 (E・S)

2年ぶりのふれあい文化祭

文化委員長 佐々木茂昭

鼎地区の皆さんが集えるふるさと鼎ふれあい広場・文化祭が2年ぶりに11月6日、7日の二日間開催できました。今まではコロナのため色々な行事が延期、中止となりおりましたが、警戒レベルが下がりが開催の運びとなりました。開催目的と

が時間短縮をして内容の

では二日間の開催でした

感染対策として、今ま

が時間短縮をして内容の

濃い催しができるよう、密にならないよう考えました。学生たちによるパフォーマンス、各種団体

による発表、会場を盛り上げて頂きました。発表の場が持て良かったとの感想を頂きました。

今回開催でき住民の皆さんとのふれあい、まともが深まったのではないかと思います。

今後各事業のあり方を見直しながらも鼎地区の交流の場がもっと増えるようなことを考えていければと思います。

各実行委員の皆さまには初めてのところもあり大変ご苦勞様でした。



風越高校書道部作品と展示会場



明星なかよし太鼓

校外ボランティア

鼎中学校青少年赤十字委員会
委員長 宮澤悠太

僕たち鼎中青少年赤十字委員会は、主な活動として、ペットボトルキャップの回収、ベルマークの回収を行っています。

さらに、特別活動として7月と10月には校外ボランティア活動を行っています。委員会として全校に参加を呼びかけ、地区の公民館清掃を行います。活動に参加した人たちが

らは「いつもお世話になっている地域の方々のためにできたので良かった」「自分の担当場所を責任をもって取り組みたい」「普段言えない感謝の言葉の代わりに一生懸命取り組みたい」などの声が上がっています。

鼎中で行っている校外ボランティアは、普段、地域の方に伝えられない感謝の気持ちを表す活動だと思っています。呼びかけに対して、多くの生徒が自主的に参加してくれる

全国大会に出場して

鼎中学校野球部
部長 佐藤 遼

鼎中野球部は9月18日から21日に全国大会に行っていました。もともとは3月に予定されていた全国大会もコロナウイルスが流行し延期になってしまし、自分達のモチベーションを維持するのはとても大変でした。しかしそんな中でも最後の大会であった3年生は、後悔することなく全員が楽しかったと思えるような

試合をしようと思って臨みました。

その結果、試合当日は部員一人ひとりが声を出し、チーム一丸となって戦うことができました。試合結果は8-0で負け

てしまいましたが、この試合は自分達にとって最高の試合だと考えます。なぜならこの試合で負けたことは僕たちにとって今後に繋がる第一歩と考えるからです。

全国大会を経験できる人は限られています。そんな貴重な経験ができ、



とても幸せです。今回の全国大会出場にあたって多くの方に応援していただきました。改めて感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。



のは委員長としてもありがたいです。これからもボランティアを続け、地域に貢献できる鼎中生でありたいと思います。

分館

秋の行事より

キャラクター誕生

中平 加藤善子

昨年よりコロナ禍で公民館活動も思うようになりませんでした。

そんななか中平ではキャラクターを作ろうと、昨年度募集をし、22点の中より今年3月に原案が決定致しました。今年度は、そのキャラクターのぬり絵コンテストを開催致しました。同時にキャラクター名も募集し、60点近くの応募があり、公

三六災害60年式典

西郷区長 加藤康治

あれから60年、当時を知る人も限られてきました。「災害は同じ所で繰り返す」この教訓を忘れないために、式典では体験談、その後の復興過程の苦労話を聞きました。また、鼎地区で唯一人の犠牲者福沢利男氏の冥福をお祈りいたしました。

当地は300年前、羊満水で野底川が氾濫し以後も度々洪水に見舞われている場所です。堤防も改良



民館委員の審査のもと8月に決定致しました。

塗り絵によってキャラクターが完成致しました。名前は「ちゅうべい」、文化祭の展示で皆様に見て頂きました。この先「ちゅうべい」の使用を考



されてはいますが近年のゲリラ豪雨は人知に勝ることは千曲川の氾濫を見れば明らかです。災害から命を守る行動の一助となる体験談はビデオに保存され、いつでも閲覧可能です。

2年ぶりの「ふるさと探訪」

下山 佐々木祐治

私達下山分館には、飯田下伊那地域の見学・体験を行う「ふるさと探訪」という行事があります。

2年ぶりの開催でしたが、飯田線を利用し電車にて天竜峡へ向かい「天竜ライン下り」を体験し、その後「天竜峡大橋・そらさんぽ」を見学、そのまま遊歩道にて天竜峡を満喫し、再び電車にて帰宅する行程でした。

収穫祭を中心として

一色分館長 林 宗夫

令和3年度公民館事業も残り半分となりコロナ感染状況は少し落ち着いてきたかと思われ

本年度の公民館活動も前半は中止または延期となり何もできない状況でしたが、10月にペタンク大会を実施、少しずつ交流・親睦を深めることができるようになり「井水の恵み農業塾」活動では各種野菜を栽培、施設への寄贈及び区民への販売



11月には収穫祭と春に延期したワンデーマーチを実施する予定です。



あいにくの小雨交じりとなりましたが、私を含め「天竜ライン下り」を体験したことがない方も多く、大変喜んで頂くことができました。来年度は例年並みの開催が行えることを期待したいです。

「SDGs」勉強会を開催

9月22日、公民館役員



の中間反省会を開催し、同時に最近話題の「SDGs」についての勉強会を開催しました。

ずんずんずん隊 活動中!



ずんずんずん隊では小学生親子を対象とした農業体験活動を行っています。今年は稲作や大豆栽培に取り組んでいます。

晴耕雨整理、手品

中島 康弘(87歳) 古



飯田市街地に住んでいた中学生の時、大火にあって焼け出されてしまい、父親が鼎の学校に勤めていた縁があつて鼎に移り住みました。

信州大学教育学部で学んで教員になりました。初任校は屋代町の小学校で、その後は飯伊の小中学校11校に赴任し10クラス約400人の卒業に担任として立ち合いました。今でも、同窓会などに呼ばれて参加しています。教員時代は子供や風景の写真撮影と風景の油絵が趣味で、写真はコンテストで表彰もされました。

定年退職した後、自治会の役員の他に飯田市の福祉事業の結婚相談員もされましたが女性の応募者が少な

く苦労されたそうです。カラオケクラブに所属するほど歌が好きで禁煙友愛会のカラオケ会に顔を出したところ、誘われて禁煙友愛会入ることになり最後は鼎の支部長まで努められました。自治会役員、結婚相談員、禁煙友愛会いずれも交流の範囲が広まりよい経験になったそうです。

現在は「晴耕雨整理」の生活を送られています。晴れの日には家の前にある畑で年間に20種類以上の野菜や花を育て、雨の日には教員時代の写真や油絵や本などの整理を行っています。2年前からは飯田マジッククラブで手品を習い、おしゃべり会で披露するなど、新しいことにも取り組まれています。

(取材 川手 浩)

かなえびと

No.45

革新など17の目標について

毎日、国民がおにぎり2個を捨てている換算になる、というのが日本の食品ロスの現状だという。その年間総量612万トンは、国連の食料援助の15倍近くになる。

勢も肝腎ではあるが...

すでにフードドライブなどの取組みが行われているのは素晴らしいが、問題は日常における個々の意識の高まりではないだろうか。旗振り役の姿

編集後記

ぼくが今、夢中になっていることは、小学生のバレーボールクラブ 県 VESP A(ベスパ)でバレーボールをすることです。この県VESP Aは、男女混合チームで、最近

頑張ります!!



中平 谷口 陽向くん(5年生)

つかめナンバーワン



No.119

は、全国大会出場でしたが、コロナの影響で県大会までになったので、県大会で優勝して有終の美を飾りたいです。県大会は、12月なので残された期間の練習を集中してやりたいと思います。

そして、ぼくの目標は、日々の練習をもっともっと頑張つて、プロバレーボール選手になって、いい成績を収めたいです。